

由良川改修事業促進期成同盟会総会あいさつ

本日は、大変お忙しいところ、総会にご参集いただき誠にありがとうございます。
由良川水系に関連する自治会の会長さんにも参加していただいております。

また来賓として、鳥取県より中部総合事務所石賀県土整備局長さんをはじめ、関係課長さんにもおいでいただきました。誠にありがとうございました。

農業の方も忙しい時期になりました。らっきょう、小原トマト、アムスメロンそして、先日には、大栄すいかの初競りもあり、1玉10万円の値もついたところでございます。7日には、大栄西瓜の初出荷式もあり、倉吉の方もすいかの出荷、そして田んぼの方は既に田植えも始まっているところであります。

さて、この由良川水系河川ですが、昭和62年10月の台風19号により大きな浸水被害を受け、昭和63年から抜本的な改修に向けた事業化を行っていただいたところでございます。私も旧大栄町役場に入庁し、最初の業務に着いたのが、その災害復旧でした。19号という台風は、その後も大きな被害があったことを覚えています。由良川本川におきましては、瀬戸の上流部まで改修をしていただきました。塩水遡上対策にも取り組んでいただいております。

北条川におきましては、放水路を作っていただきましたが、近隣地区などで家屋が傾くという状況がありまして、改善に向けて取り組んでいただいております。矢板を打って、地下水の流れを遮断し、沈下を抑えている状況です。大分、沈下の方も収まってきているようですが、まだまだ様子をみながら対処していただきたいと思っております。また、北尾のJR橋等の改修ということが計画されております。

しかしながら、大雨の時には、亀谷や米里など上流部では、浸水の被害が継続して発生しております。

昨今の頻発化・激甚化する災害によりまして、被害が全国的に発生しているところであります。こういう期成会を通して国へ要望し、予算の確保を図ることが必要だと思っております。

本日の総会の状況をつぶさに国会の先生等に伝えて、由良川水系河川の抜本改修の早期完成を目指して、そして地域を水害から守り、地域住民がいつまでも安全で安心して暮らし続けることのできる社会を実現するため、頑張っていきたいと思っておりますので、ご理解とご協力をよろしくお願いします。

本日の総会のスムーズな運営と有意義な会となりますことを祈念いたしまして、開会のごあいさつとさせていただきます。

令和4年6月2日
北栄町長 手嶋俊樹